

公民館月報

K O M I N K A N G E P P O



特集

社会教育法制定60周年記念全国公民館研修大会 特別記念講演「地域文化と公民館」

4.5

- 2 トピックス 社会教育法制定60周年記念全国公民館研修大会開催
- 3 視点 川崎市の社会教育から～地域教育会議誕生の背景～
- 3 ひろば 悪玉善玉？
- 6 実践記録シリーズ 「阿賀町学びあい支えあい事業」
- 7 サークル交流 「今日も笑顔で楽しく」(新潟市) / 「楽しく、元気に!!」(聖籠町)
- 7 素顔拝見 佐久間伸一さん(胎内市) / 磯田 勇人さん(出雲崎町)



高齢者趣味の教室「いきいき作品展」
(中央公民館会場) 長岡市

表紙解説 今年度は中央公民館(大ホール)と美術センターの2会場で開催します。中央公民館会場の様子です。



社会教育法制定60周年記念全国公民館研修大会開催

一、一〇〇余名の参加を得て

テーマ「社会教育法60年とこれからの公民館」

社会教育法制定60周年記念全国公民館研修大会は、10月16日(金)東京国際フォーラムを会場に、一、一〇〇余名の参加を得て開催された。

今回のテーマは「社会教育法60年とこれからの公民館」。

開会後の記念式典では、全国公民館連合会鹿熊久三会長の挨拶、引き続き表彰式が行われ、平成21年度文部科学省社会教育功労者表彰が六名の方に、全国公民館連合会功労者表彰が十一名の方に(本



祝辞 鈴木文部科学副大臣



挨拶 鹿熊会長

県からは阿賀野市中央公民館見原健司館長に)、公連勤続職員表彰は二名の方にそれぞれ表彰状が手渡された。

祝辞は、鈴木文部科学副大臣が、受賞者代表謝辞は、池上幸雄元長野県公連協会長が述べられた。

特別記念講演は「地域文化と公民館」と題して、中央教育審議会前会長の山崎正和氏が、サントリー地域文化賞の

具体的事例を交えて公民館とのかかわり方について述べられた。(概要は4・5面に)

午後は「映像で見る公民館の歴史」を視聴、公民館の原点を体感した。

シンポジウムでは、「公民館の歴史を再確認し、新たな未来を築いていこう!」と題して、笹井宏益氏をコーディネーターに、四名のシンポジストからそれぞれの専門分野から方向性を探っていただいた。



シンポジウム

た。

なお、10月15日(木)には都道府県公連役員研修会が行われた。

研修内容は、1. 全国実態調査から見る公民館の現状 2. 都道府県公連組織のこれからの運営(北海道、神奈川県)について、約2時間にわたり研修を深めた。

◆平成21年度全国公民館連合会功労者表彰 (本県関係一名)



見原 健司様

(阿賀野市中央公民館長)

BOOKS INFORMATION

朱膳寺 春三 著

公民館の原点

— その発想から創設まで —

(社) 全国公民館連合会 1,200円

申込先 〒951-8053 新潟市中央区川端町2-9 県林業会館内 県公民館連合会事務局 TEL・FAX025-224-6073

視点

川崎市の 社会教育から ～地域教育会議誕生の背景～



魚沼市中央公民館長 星野 修美

川崎市は、魚沼市の約六分の一の市域に百四十万人が暮らす過密都市である。人と物と金が動く都市に求められる社会教育の課題は多様化している。

私は三十八年間川崎市に勤め、その殆どを社会教育の仕事に費した。生涯学習の推進が本格化した平成四年頃から、川崎市ではその方向の具体的な取り組みのひとつを学校改革に求めた。

住民参加による開かれた学校づくりを模索して「地域からの教育改革運動」が展開され、これに呼応した行政の施

策も学校教育と社会教育が一体となって、いわゆる「学社融合」の実践に汗を流した。この結果生まれたシステムが地域教育会議である。

この会議は中学校区を単位として全市に設置され、学校や地域における様々な教育課題に眼を向けその本質にせまる協議の場を用意した。子どもの居場所づくり、ひきこもりの課題となるが、その地域における祭りや楽しいイベントも年間行事として実施され、それは今日も続いている。

H O T N E W S 掲 示 板

平成22年度 公民館関係研究大会等開催日程

- 1 県公連創立60周年記念
第61回新潟県公民館大会
○平成22年7月16日(金)
○新潟市北区文化会館(豊栄)
- 2 第51回関東甲信越静公民館研究大会
○平成22年8月19日(木)～20日(金)
○静岡県コンベンションアーツセンター「グランシップ」(静岡市)
- 3 第32回全国公民館研究集会 in いしかわ
○平成22年10月14日(木)～15日(金)
○石川県立音楽堂ほか(金沢市)



悪玉善玉?

ひろば

聖籠町公民館運営審議会委員長 大野 弘行

頭を抱える季節である。秋の健康診断が控えている。備えて運動する人、酒をお休みする人、普段通りと検査前日でも飲酒する人とさまざまである。

昨年から検査項目が増え管理値も厳しくなった。やれやれである。少しでも腹が出ていると家族や会社から「メタボ」のレッテルを貼られ肩身が狭いの、またまた、新指標が登場。コレステロール値のいわゆる悪玉(LDL)と善玉(HDL)を使った指標。通常、悪玉百四十以上、善玉四十未満なら、どちらか一方でも脂質異常症と診断される。血管にたまったコレステロールが塊になり動脈硬化が進み、心筋梗塞や脳梗



塞などの引き金になる。今度は「悪玉÷善玉」が2.0を超えると要注意となるらしい。これまで健康診断の統計からすると半数近くはLH比が超えると思われるようだ。痩せ型の人でも基準値を超えることはあると言つこと。

対策は、有酸素運動の持続的継続しかないようだ。週三回・二十分程度のウォーキングで良いとは言うけれど・・・実行は如何に。

記念全国公民館研修大会

文化と公民館」

サントリー文化財団理事
山崎正和氏の講演から

達を行う形に変化してきている。

たとえば阪神・淡路大震災に見舞われた兵庫県西宮市では、地震復興の名目のもと、県知事の肝いりで震災から10年目の2005年に兵庫県芸術文化振興センターを設立している。

話は少し外れるが、今はカルチャーセンターが人気である。このことも社会教育と公民館の在り方を再考するきっかけになるのではないか。例えばコミセンと公民館が連携あるいは相互補完するような関係を模索・構築することを考えてもよいのではないか。

私は、学術支援を行うサントリー文化財団で毎年、サントリー地域文化賞の選考を行っており、この30年で約150件を表彰の対象としてきた。当初は「すぐにネタ切れになる」との批判もあったが、これまでの選考で「地域が文化を生む段階であり、都会がその文化を育てた。」と感じている。思うに、かつての地域文化は日本文化の母であったが、明治維新を契機に諸外国の文化があらゆる分野に入り込んだ結果、入口であった東京中心の文化へと変貌した歴史を有している。その歴史を踏まえて、地域で文化をつくろうという意識が芽生え、80年代を境に文化が地域をつくろうという機運が生まれてきたと考えている。その地域の表現活動の実例は、大分県由布市湯布院町における音楽祭・映画祭の開催を端緒とした温泉の活性化、福島県福島市のFMC混声合唱団によるローマ法王庁での演奏、山形県鶴岡市の白麴社^{はくおうしゃ}という美術団体の活動、長野県飯田市のいいだ人形フェスタの開催、鳥取県米子市の本の学校による読書運動など枚挙にいとまがない。

地域を動かす主体は、首長・図書館司書・老人クラブなど様々であるなか、公民館が関わっているケース、場合によっては社会教育主事が個人的に関わっているケースもある。

サントリー財団の賞選考に携わる私から公民館

へのお願いがいくつある。それは、今お話した事例を見るまでもなく、①地域が元気であることに公民館は目をもっと向けてほしいこと、②公民館はこれまで関係ないと思われるものに活動～連携や業務分担でもよい～して欲しいこと、③民間と公民館、公民館と市長部局はもっと手を結んで、色々なことを行ってほしいことの三点である。

公民館の仕事と社会教育は今後も続いていき、小さな市町村ほどその存続の重要性は増すと思っている。

これまで日本および日本人はひとつのまとまりを持って生きてきた。そのためには共通の知識が不可欠である。例えば方言のみの日本社会は成立しないが、方言を見捨てずに大事にする運動は行ってほしいということである。それは日本が多様性のある社会であり、多様性を大切にしているということの意味する。そしてイコールそれは文化である。今後それをどう保ってゆくのか。ここに公民館の役割・活動を継続してゆかなければならない理由が存在する。そのためには地域の表現活動に注目し、場所の提供だけでなく一緒に活動することが公民館として必要となる。そして一緒に活動するためには人材（職員）の養成が必要であるとともに女性の力の活用が不可欠である。

また、公民館にも指定管理者制度の導入の流れが来ており、派遣される職員の質が大切なのは言うまでもないが、質の高い職員を育てる仕組みを作ることも大切である。

以上のように、情報・知識に関する考え方の変化から指定管理者制度導入の流れに至るまで、公民館を取り巻く状況は時代とともに大きく変貌してきている。しかし、この状況を逆手にとらえ知恵と工夫で良い方向に進めてゆくことが大切である。社会の変化を味方につけて今後の公民館は進んでほしい。

特集



新潟県公民館月報編集委員
(新潟市新津地区公民館主査) 佐藤 武晴

1 はじめに

「社会教育法60年とこれからの公民館」のテーマの下、10月15日(木)と16日(金)の二日間にわたり「社会教育法制定60周年記念全国公民館研修大会」が1,000人を超える全国からの参加者の規模の中、東京国際フォーラムで開催されました。その二日目の16日、評論家でサントリー文化財団理事の山崎正和氏を講師にお迎えして、「地域文化と公民館」というテーマで記念講演が行われ

2 講演内容

社会教育と公民館にとって、現代という時代は取り巻く状況の変化によりとても難しい時代となっている。昨今、社会教育および公民館についての議論も多く、「社会教育は終わった。」と結論づける著作もあるほどである。

一方、現代という時代はIT社会が進展し、情報過多の現状を生みだしている。しかしながら情報は、ある意味で歪んだ形で伝達されることが多い。株式情報に代表される断片的な情報であり、すぐ役立つがすぐに古くなるという情報である。この点に着目すると社会教育とは、公民館とはと考え直す時期・機会なのではないかと考える。そもそも学校や公民館という教室で得ることのできる知識とは、すぐに役立つものではないが、すぐには古くならない。つまり知識とは永遠のものではないか。しかし、時代の風潮は、活字を読まない、本を買わない、そして教室ではメールと今、子どもたちはものを考えなくなっており、

社会教育法制定60周年 特別記念講演「地域



順序ある体系的な考え方、つまり知識への興味を薄れている傾向がある。こうした由々しき傾向を打破するには、学校や公民館という教室で知識を得る(教える)必要がある、今こそ公民館が大切なのである。

かつての通達により社会教育および公民館は、上からの教えである教育と下から上への動きである自治という相反することを併存させていたが、20年ほど前から上からの教えである教育に批判が生じてきており、地域の自発的な学び(生涯学習)が何よりも大切なのだという流れになってきた。国レベルで見ると文部科学省のトップ部局が、以前の社会教育局から現在の生涯学習局へと名称が変更になったことが顕著な例を示している。

しかしながら、公民館の設置は、戦争の反省に基づくものであり、新しい日本の構築と明るい民主的な社会の構築という目的があつてのもの。またいわゆる「寺中構想」は、上から下への教育、下から上への教育(=自己研さん、自己表現)そのどちらも大切としていることは言うまでもない。

他方、地方レベルで見ると公民館における知識の伝達の形が変わりつつある。以前は、公民館に社会教育主事を置き、知識の伝達をおこなっていたものが、(コミュニケーション、公会堂など称するものも含め)首長部局が運営し、知識の伝

実践記録

140

シリーズ

「阿賀町学びあい支えあい事業」

阿賀町教育委員会社会教育課 主任 西川 利之

●事業のねらい、目標

中山間地といわれる地域の特性を生かしながら、高齢者から昔の遊びを教わったり、地域の自然や素材を生かした活動を行い、住民同士の連帯感やきずなを深め、互いに顔の見える地域を育成し、地域教育力の再生を図ることを目標にしました。

●事業の概要

◎手作りおもちゃと昔あそび体験

地域の高齢者の方々から、昔の遊びを教わりみんなと一緒に遊びました。活動には、高校生や一般のボランティアの方も参加し一緒に汗を流しました。



写真は、自転車の輪っかを使った「輪っか回し」と「サンギ足 ※竹馬」です。体育館の中では、コマ作り、ペットボトルを使った遊びを行いました。

◎川と鮭を活用した環境学習活動

春先の稚魚放流から始まり、その後の事業の展開を実行委員で協議し、「鮭のつかみ取り」「採卵・受精」体験をさせたいと意見がまとまり事業を行いました。当日は、事前に準備した川の浅瀬に親鮭を放流し、子どもたちに鮭のつかみ取りを体験させ、その後、川原で採卵・受精を行い、容器に小分けした受精卵をそっと小川に放流しました。

活動終了後、役割の終わった親鮭を活用し、ボランティアさんから手伝ってもらって「鮭の料理教室」を行いました。参加した子どもたちは、テレビで見たことはあるが、本物は初めてで緊張した、卵がふ化して、またこの川へ戻ってくるよう、川をきれいにしたい、という意識が向上したようです。



◎地域再発見と課題の訪問活動

合併後新しくなった町をマイクロバスで見てまわり、地域の見どころや行政施設を訪問し、自分

たちの住んでいる地域の良さや問題点を再発見しました。面積がかなり広い地域なので、「生まれて初めて来た。」といった声や、マイクロバスの中で地域の井戸端話が盛り上がっていました。

◎地域素材を利用したボランティアで支える地域興しイベント

地域の素材(畑で余った野菜)を利用し、なんとか地域の連帯感を高めることができなかと会議で話し合いを行い、閑散としてきた文化祭も盛り上げればということで、ボランティアの方々畑で余った野菜を収集し、文化祭会場で無料の豚汁を振る舞いました。

●成果と課題

地域の高齢者と小学生との間に、温かい関係が生まれました。道端やお店で出会っても「竹馬の先生」などとあいさつが交わされるようになりました。子どもたちも、おじいちゃんやおばあちゃんが器用に物を作ったり、コマを回したり、竹を裂いていったりと、自分の親より凄いでビックリしていました。高齢者の方々も、「年寄りの冷や水」と言われないよう頑張って少々疲れたが、子どもと接する時間が楽しかった、次は何をしようか等と嬉しい話が聞けました。

色々な事業を通じ、参加者同士が顔見知りになり、余った畑の野菜がボランティアの手によって皆さんから喜ばれるものに変身しました。また、鮭を通じた環境学習会では、地域のシンボルである「阿賀野川」をきれいにし、魚も私たちが住みよい自然を育てて行こうという小さな心が芽生えてきました。

今回は、大勢のボランティアさんに協力をいただき、小さな町でも心ある方が大勢いるのだということがわかり、大変よかったです。なによりも、ボランティアの方々が、「次も協力するよ!」と言ってくれた言葉は有り難かったです。

課題はやはり人づくりです。ボランティアとして動いてくださる方々は今回の事業で把握でき、次も協力してくれる、と有り難い言葉を頂いています。また、参加者も内容によって集まり具合に偏りがありますので、イベントの内容を吟味し目標を定める必要を感じます。そして、仕掛け人の育成の契機になるよう取り組んでいきたいと思えます。

event information

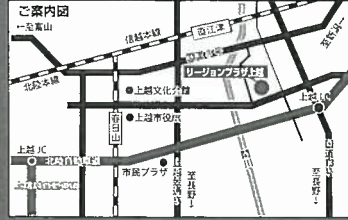
ケータイを賢く利用する 子どもを育てるための 県民集会

自分の住所・氏名・電話番号・メールアドレスなど個人情報は書き込まない。
知らない人のメールや電話のメールなどには返信しない。



日時 平成21年11月29日(日) 午後1時30分～午後4時00分
開場受付: 午後1時から

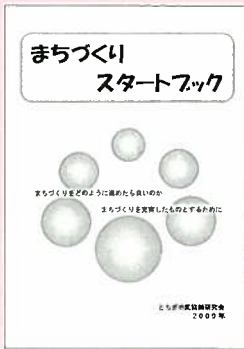
会場 リージョンプラザ上越コンサートホール
上越市下門前 446-2 TEL / 025-544-2122



対象 中高生から成人までどなたでも
入場無料 (定員400名)
事前に事務局まで電話・FAXまたはe-mailでお申し込みください。
※中学生は保護者様ご参加ください。
〈文部科学省委託事業〉
主催/新潟県青少年をとりまく育育環境対策推進実行委員会
共 催/上越市教育委員会、魚川市教育委員会、妙高市教育委員会
協 賛/新潟県教育委員会、新潟県教育委員会、PTA関係者、業界関係者
事務局: 社団法人新潟県社会教育協会内
〒951-8053 新潟市中央区川端町2-9
TEL&FAX / 025-228-2419
e-mail: syakyo56@feel.ocn.ne.jp

恵贈資料紹介 まちづくりスタートブック

宇都宮大学廣瀬隆人先生からの
ご提供資料です。
副題は、まちづくりをどのように進めたらよいか、まちづくりを充実したものにするために。
内容は、1まちづくりの考え方
2まちづくりの具体的な「カチー」
3まちづくりのすすめ方
4まちづくり活動のスタート
5栃木県内まちづくり活動事例等から構成されております。
3のすすめ方では、(1)一人ではじめるまちづくり (2)まちづくり市民の5つの活動 (3)同志と出会う、グループを作る (4)仲間と



出会うための方法 (5)活動計画を立てよう (6)そして4の活動のスタートでは(1)一緒に活動する仲間をみつけます (2)仲間と一緒にまちを歩きます (3)仲間と一緒にまちを観ます (4)図書館や資料館

で調べます (5)仲間と一緒に話を聴き取ります (6)見聴きしたことままとめます (7)学びを生かしてまちづくりの行動へ、と具体的に手順、方法が記述されております。
一部 五〇〇円
現場必見資料です。
問合せ先
〒320-8505
宇都宮市峰町350
宇都宮大学生涯学習教育研究センター内
TEL・FAX
〇二八-〇四九-五一四一
・とちぎ市民協働研究会

とちぎ市民協議会

純国産クリーンエネルギー

ダムは、CO₂を排出しないクリーンな電力を供給するとともに、都市住民の生活や農業・産業活動などに安定した水の供給を行い、また、集中豪雨等の災害時には住民の生命・財産を守る機能を果たすなど、国民の安心・安全にも役立っています。

新潟県ダム・発電関係市町村協議会
会長(津南町長) 小林 三喜男

新潟市中央区新光町4-1 新潟県自治会館内
TEL 025(285)0041 FAX 025(285)1609

あ と が き
10 月中は諸研修真盛り、全国研修大会、東北地区大会等で何とか終え、11月は、中公連研修、関P口理事研修も予定されております。
また22年度公民館研究大会もすでに決定しており、3面に掲載しました。
(鈴木 記)